

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 斎藤 政徳
都整-11	重点事業	鎌倉駅東口駅前広場整備事業	■ 自治事務
			□ 法定受託事務
		主管課	道路課(交通計画課)
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針
			道路・交通体系の検討

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	鎌倉駅東口駅前広場における歩行者の安全な利用空間の改善を図るとともに、公共交通機関の利便性の向上を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉駅東口駅前広場について、平成28年度に策定した基本設計に基づき、積算等業務委託を行った。 ・鎌倉駅東口駅前広場実施設計等業務委託については、年度内に完了できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	人口	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
	事業の対象者数				事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)		11,573		当初予算(千円)	215,468		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債	154,000		
	その他				その他			
	一般財源		11,573		一般財源	61,468		
	人員配置数		1.0		人員配置数	1.1		
	人件費(千円)	0	7,869		人件費(千円)	9,242		
事業運営	総事業費(千円)	0	19,442		総事業費(千円)	224,710		
	市民1人当りの経費(円)		110		市民1人当りの経費(円)	1,275		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・平成28年度に基本設計、平成29年度に実施設計を行い、平成30～31年度の2箇年で、工事及び工事監理を行う。 ・鎌倉駅東口駅前広場は、平成32年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックまでに着実に整備する必要があるため、確実な予算維持が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・鎌倉駅東口駅前広場は、舗装が劣化し、歩道の幅員も狭く、歩行者とバス待ち行列などが錯綜し、歩行環境も悪化している状況である。また、視覚障害者誘導用ブロックが設置されていない箇所がある。 ・特に鎌倉駅東口は、鎌倉の玄関口であり、歩行エリアと滞留エリアを確保し、利用者や車両の安全性、利便性などの向上を図ることが必要である。 ・また、平成32年開催予定のオリンピック・パラリンピックまでに整備を目指し、引き続き市民や商工業者、交通事業者等の関係機関と密に調整を図る必要がある。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉駅東口駅前広場のレイアウトについて、交通管理者との交通協議を実施し、終了させる必要がある。 鎌倉駅東口駅前広場整備に向け、市民、商工業者、交通事業者、交通管理者、関係行政機関等と調整する必要がある。 実施設計において、建築物(バス乗降場等のシェルター)の設置計画のために地下埋設物の確認及び埋設管の移設等に関する占有業者との調整が必要である。 道路内建築物の許可申請及び建築確認申請を行う必要がある。 	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 交通管理者との交通協議を実施した。 交通管理者との協議結果を踏まえ、実施設計を進めた。また、駅前広場レイアウトについて、市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等に説明した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 建築物(バス乗降場等のシェルター)の設置に向け、地質・地下埋設物調査を実施したが、土地所有者との調整に時間を要したことから、占有者との埋設管の移設等に関する協議ができなかった。 地質・地下埋設物調査の実施が当初の予定よりも遅れたことに伴い、シェルターの基礎形状の設計着手に時間を要し、道路内建築物の許可申請及び建築確認申請を年度内に実施することができなかった。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考			
当該指標を設定した理由		H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--